

2020年7月4日

学校法人三幸学園
大宮こども専門学校
校長 増田 泰朗 殿

学校関係者評価委員会
委員長 野本 剛司

学校関係者評価委員会実施報告

2019年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 野本 剛司（コビープリスクールさかい 園長）
- ② 梁 裕美（第6期卒業生、社会福祉法人みんなぎふらっとセントラル保育園 保育士）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2020年6月29日（会場 大宮こども専門学校 301教室）

3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2019年度 学校法人 三幸学園 大宮こども専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 丸山 政孝

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 野本 剛司

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、保育分野の学校として「こどもを育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、保育分野として「皆から信頼・感謝されるこどもの未来を育む人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・担任をベテランと若手を組み合わせて同じ学年を担当するように配置し、生徒指導の格差が無いようにした。
- ・学年ミーティングを定例で行い、学年ごとの計画、実行、振り返りをしっかり行うようにした。

① 前年度重点施策振り返り

- ・クラスアンケート、卒業生アンケートの結果は上昇したが、退学率が増加してしまった。主な要因として、人間関係、精神的な理由、学力不振などが挙げられる。同じクラスに退学者が集中してしまい、一人の担任で抱え込んでしまっており、一人ひとり手厚くフォローをすることが出来なかった。

② 学校関係者評価委員会コメント

- ・2年次の退学者は少なかったが、1年次は人間関係や精神的な部分で退学となった生徒は多い印象を受けた。(梁委員)

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・教育理念「技能と心の調和」や人材育成像「皆から信頼・感謝されるこどもの未来を育む人材」など、入学時のスタートアッププログラムで重点的に話をしており、教育理念の浸透は図れている。一方で、保護者に対して理念や目的、人材育成像の周知はあまりできていない。

② 今後の改善方策

・保護者に向けて、オンラインなども使用しながら、理念や育成像などを説明する機会を設ける。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・保育方針・内容を保護者への伝え方について（野本委員長）

⇒入園時の個別面談にて園の方針や内容などについて話す共に重要事項文面書も併せて保護者に渡している

・在学中の学校生活を保護者の方にどのように伝えていたか（梁委員）

⇒学校生活については自分から話す事が多かった。園だよりも保育園にあるように、専門学校でも学校通信があるとより学校の方針や取り組みがより伝わるのではないかと

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・保護者や業界関係者への教育活動に関する情報公開がまだ少ない。
- ・本部のスタッフ部門主導で新たなシステムが導入され始めているが、なかなか現場が活用しきれていない。

② 今後の改善方策

- ・保護者へ郵送物を通して情報共有を図る
- ・スタッフ部門との連携を強め、新たに導入されたシステムについて、内部研修を行い理解を深める。

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ICT化の進め方について(野本委員長)

⇒一部の園で試験導入をしてモニタリングを行ってから全体への共有を進めていく形をとっている。

- ・就職先の園のICT化になっていることについて(梁委員)

⇒登園時のカード・薬の確認はアイパッドで管理している。

- ・現場の職員は使いこなすことができている。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

・関連業界との連携がまだまだ課題があり、業界の意見を全国的なカリキュラム編成に反映しきれていない。また、実習巡回先になっていなければ、就職先からのご意見を聞く機会もまだまだ少ない。

② 今後の改善方策

- ・学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等を通して、業界からの意見を積極的に全国の責任者会議で提案して、カリキュラムに反映させていく。
- ・就職先に訪問をする機会を増やしていく。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・養成校との繋がりについて(野本委員長)

⇒三幸学園は積極的に現場との取り組みを行っている。保育に夢と希望を持って保育士を目指して欲しい為、養成校とも今後も就職支援部門を通して連携を取って行きたい。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

・卒業生の活躍状況を把握することがあまりできていない。

② 今後の改善方策

・同窓会サイト(SANKO LINK)・学内情報発信システム(SankoGate)を活用して、卒業生の勤務状況などを把握し、困っていることなどを知ること、学校教育にも活かしていく。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・SANKOGATE・同窓会リンクの卒業後の活用について(梁委員)

⇒同窓会サイトは閲覧をした事がない。SANKOGATEについてもアプリへの移行やパスワード等を忘れてしまうなどの理由から卒業後も活用している友人は少ないように感じる。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・卒業生への支援があまりできておらず、相談があった卒業生に対して対応しているのに留まっている。
- ・中途退学者に対して、その後の状況を確認したり、アドバイスするなどの支援が不足している。

② 今後の改善方策

- ・前述の通り、卒業生向けに SankoGate を活用して相談を受け付けたり、ニーズがあれば簡単な研修動画などを流す。
- ・高等学校・高等専修学校から情報をいただくなど、連携を図り学生支援に繋げる。

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・卒園生の様子を知る為に取り組んでいる事(野本委員長)
⇒幼保小連絡委員会を通じて連携を取っているが、プログラム化されていない地域も多く課題がある。野田市では運動会や小学校への授業参加などの接続部分をカリキュラムを立てて取り組む必要がある。
- ・学校との卒業生の繋がり強化について(梁委員)
⇒卒業生:クラスラインのグループへ先生が入れたら良いのでは。担任の先生とは今も個別に連絡をしている状況。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

・教員、生徒共に学校生活における防災に対する経験が少ない。

②今後の改善方策

・避難訓練の実施を予定していたが、新型コロナウイルスの感染状況では中止し、HR で生徒への周知を行っていく。

③ 特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員会コメント

・実習に向けて学校で取り組んで欲しい事について(野本委員長)

⇒実習を通して保育の楽しさと希望を持って知ってほしい。学校では基本的な挨拶・コミュニケーション・身だしなみなどの基本的な部分を今後も指導して欲しい。

・実習や就職に向けて学校で学びたかった事(梁委員)

⇒レギュラー時の対応の仕方。こども達とのかかわり方・寄り添い方等のケースワークをもっとグループワークなどで学び、いろんな人との意見や考えを共有したかった

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・18歳人口の減少が顕著（特に入学者の3割を占める北関東の減少幅が大きい）であり、18歳人口以外の入学者の割合が低いので、このまま進めば入学者確保が厳しい状況になる。

② 今後の改善方策

・再進学の方角けの様々な国の制度、保育士の修学資金など学費の支援を打ち出し、学費面での入学のハードルを下げるような説明を行う。

③ 特記事項

・特になし

⑤ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・個人情報の意識は高まっているが、新任の教職員も増えているので改めてコンプライアンスの研修や伝達は必要である。

② 今後の改善方策

・コンプライアンスの研修を全教職員に向けて行う。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・コンプライアンスの保護者や職員への周知の仕方(野本委員長)

⇒保護者の方の同意を必ずとることを徹底している。また、コンプライアンス研修を職員全員に実施している。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

・本校施設で実施している地域支援ボランティア「こどもひろば」も2019年度で7年を迎え、地域の子育て支援に繋がるような取り組むことが出来ているが、一方で、一部の生徒の取り組みになってしまっているので、幅広い生徒のボランティアの機会は提供できていない。

・外部（業界）と関わるボランティア活動の案内が少ない。

② 今後の改善方策

・積極的に地域関連企業、実習先などにボランティアの依頼をして、ボランティアの件数を増やす。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

・保育の仕事では就労ビザの取得が難しく、勉強をする環境の提供は可能だが、その後の就職も視野に入れると積極的な受け入れが難しい状況である。

② 今後の改善方策

・受入れにあたり、留学生本人に就労ビザ取得に関する理解をしてもらい、そのうえで保育に関する事が学びたいという事であれば、積極的に受け入れていく。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

(野本委員長)

18歳人口の減少が進む中で、外国の方との年上の後輩・部下等、様々な方との関り方・向き合い方を知っていく必要がある。ボランティアや委員会活動など様々な経験を積極的に積み、自ら考え実行する力を学校で育ててほしい。今回の学校評価を実施し得た学びを、今後養成校から実習・就職を受け入れる際の参考にさせて頂きたい。

(梁委員)

社会に出て、報連相の重要性を改めて感じている。何か悩んだ際にはできる限り近くにいる先輩に早いうちに相談をすることで課題が解決されることが多い。在校生も同じように、何事も早め早めに相談ができるような環境づくり、報連相の重要性を学校としては今後も伝えてほしい。

(丸山副校長)

自己評価、学校関係者評価を実施させて頂き、改めて生徒の視野を広げ、横・縦の関係を深める機会を増やし、その中で協調性、報連相、礼儀・マナーなどを学び、社会性を身につけていくことが重要と感じた。

また、今後も現場の方々の意見を聞きながら、ICT化や世の中の情勢によって変わりゆく保育業界に対応できる人材育成を行っていく必要がある。

以上